

地区報 きらり

発行: 吉島地区交流センター
 特定非営利活動法人
 きらりよしまネットワーク
 〒999-0214
 川西町大字吉田5886-1
 TEL44-2840 FAX 44-2841
 ホームページURL
<http://www.e-yoshijima.org>
 代表メールアドレス
kirari-npo@e-yoshijima.org



残暑お見舞い申し上げます。
 暑中見舞いは二十四節気の小暑(七夕)から立秋(8月7日)までだそうです。
 立秋を過ぎれば残暑見舞いとなるそうです。まだまだ暑い日が続きます。ご自愛ください。

地区報の内容については十分チェックしておりますが、文字の誤りやご不明な点がありましたら、吉島地区交流センターまでお知らせくださいますようお願いいたします。

きらりの関係人口が吉島小学校のオンライン授業に一躍 慶応義塾大学看護医療学部「ちよこ健」

【開催日】7月10日(水)
 【対象学年】5・6年生
 一昨年から交流を継続している慶応義塾大学看護医療学部「ちよこ健」は、ふれあい祭でブース出店や健康体操の開発などに協力をいただいています。
 今回は関係人口との交流拡充の一環として、総務省の補助事業を活用して実現しました。
 今回の授業は、学校とも調整をして「睡眠」をテーマにおおよそ40分の授業を担当してもらいました。



児童は、画面越しの授業に真剣に聞き入っていました。も慣れたもので学生の授業も質の高い睡眠の大切さや、寝相の悪さや夢のことについて積極的に質問をしていました。
 ▼関係人口とは・・・交流をきっかけに、その地域に何かしら関わりを持ち持続性の高い交流を図る人材や地域のことをいいます。
 関係人口の増加は地域の社会的ネットワークの拡充とコミュニティの強化につながっていきます。

緑化推進事業「花壇コンクール」 第二回審査会を開催



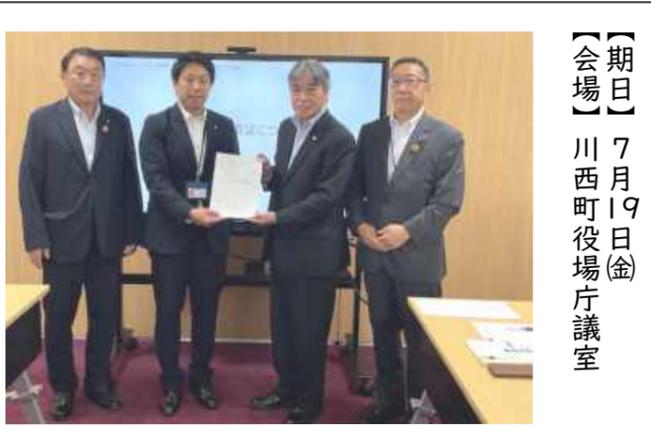
【開催期日】8月10日(土)
 【審査委員】5人
 8月10日に二回目の審査会を実施しました。
 7月25日の大雨で花の生育に支障があるか心配されましたが、なかなかどうして、花壇の花たちはたくましくその美しさを保ち川西町の東の玄関口として訪れた人々の目を楽しませています。
 残念なことには、吉島の方ではないと思うのですが、空き缶やごみを道路に捨てる方がいます。お互いに声を掛け合って美しい吉島を守りましょう。

「川西町青パトネットワーク」を実施 ご理解とご協力をお願いします

【開催期日】8月1日(木)
 川西町防犯協会連合会事業の恒例活動として青パトネットワークが実施されました。地区からは防犯協会長、センター長らが防犯役員として参加しました。
 青パト活動とは、児童の登下校の見守りや不審者の抑制、事件・事故の未然防止など、地域内巡回を装備した車両が、活動です。
 吉島地区からリレーを受け、このほり大塚地区へ注意喚起のよう旗を掲げました。このように活動をおこなって、安全なまちづくりを拡げたいと思います。



吉島地区の要望を川西町吉島地区要望会 川西町役場庁議室



【期日】7月19日(金)
 【会場】川西町役場庁議室
 過日開催(5月10日)された吉島地区要望請願等委員会(委員長遠藤勝則)で協議された内容について、川西町役場において要望会が開催されました。
 当日は、茂木町長はじめ、安全安心課、地域整備課、まちづくり課の課長、主幹クラスが同席し、吉島からは遠藤勝則委員長、寒河江司議員、寒河江樹議員、高橋由和事務局長が出席しました。
 新規の要望5件、継続要望9件から重要案件5件について説明し、それぞれに担当課より対応について説明を受けました。その後、意見交換の時間が設けられ、吉島からは、



委員長が災害防止に係るところは、財源確保も厳しいところもあると思うが、県、国等への要望もしていただき、継続的な対応をお願いしたい旨お伝えしました。
 5年ぶりに通学合宿を開催しました
 わんぱくキッズスクール
 長いコロナ禍で活動が制限されていましたが、今年度5年ぶりに通学合宿を開催しました。7月18日から20日までの2泊3日で、参加児童は17人(3年10人、4年1人、5年3人、6年3人)でした。家庭と学校の生活とは違い、三食同じ釜の飯を食べながら、集団生活、活動の大切さを学びました。一日目は気分が高ぶってハイテンションの児童もいました。慣れたが、それも少しずつ地域のと、スタツツや地域のボ

5年ぶりに通学合宿を開催しました わんぱくキッズスクール

ランテアとも上手にコミュニケーションが取れるようになりました。今年度は、中学生もお手伝い役として参加してくれました。一緒に小学生と宿泊してもらいました。参加した児童は「楽しかった」「2泊3日では短すぎた」「等嬉しい感想が寄せられました。「地域の子どもは地域で育てる」のスローガンのもと、今後も子ども居場所づくりを拡げていきます。ご協力いただいた皆さんに心から感謝を申し上げます。



学校から帰ると、教えあいながら宿題をします。

夜と朝はみんなと一緒に食事をします。一緒に食べるとさらに美味しい!